

WWW NEWS COPE

インターネット・ニュースの見方

eye 1

WWWの表玄関をめぐる競争が始まった

「ポータルサイト」続々と登場

ネットスケープの「ネットセンター2000」、マイクロソフトの「internet start」が6月から7月にかけて2大ブラウザの開発元がそろってホームページをリニューアルし、同時に、WWWの入り口サイトとして名乗りを上げた。さらに、毎日のように報道される有名検索サイトと大手商業サイトとの提携。これらの動きは今後のインターネットにどのような影響を与えるのか。そして、ユーザーにとってのメリットは何か。今話題の「ポータル」を考えてみる。

編集部：倉園佳三

ポータルはWWWの表玄関

WWWブラウザを起動すると最初に現れる「スタートページ」。今このスペースを巡って激しい争いが繰り広げられている。すでに大きな成功を収めているウェブサイトの大物企業が、インターネットの入り口「ポータルサイト」として名乗りを上げはじめたのだ。

ポータルには「入り口」や「表玄関」という意味があり、米国では「ハブサイト」、
「ゲートウェイサイト」とも呼ばれている。ハブは「中心」を、ゲートウェイは「通路」や「～への道（手段）」をそれぞれ意味するが、これらの語句をすべて合わせるとポータルの役割がはっきりしてくる。

つまり、ユーザーが広大なWWWの世界に出て行く際に最初にアクセスする入り口のページであり、目当てのウェブサイトへ導いてくれる地図となる。そして、同時にそれぞれのユーザーにとっての中心「ホーム」とし

ての意味も持つ。

現実の世界にたとえるなら、あらゆる情報が探せる図書館、世界中の商品が買えるデパート、世界中の識者と談話できるサロン、無料で使える郵便局、ニュースや映画などのメディア、ゲームセンター、オフィス、これらすべてを統合した空間、あるいは、これらにたどり着くためのターミナルと考えればよい。この数年で話題になったWWWのサービスを一堂に集めた「インターネットの大都市」のようなものだ。

検索サイト系と商業オンライン系

ヤフー、エキサイト、インフォシーク、ライコス各社の株価がこの何か月の間に急上昇している。これら4大検索サイトの共通点は、ポータルというキーワ

ードにそって自社のコンテンツを充実させていることだ。

未知の情報を探すためにWWWを使うなら、検索サイトほど「入り口」にふさわしいものはない。逆にいえば、何らかの検索機能を持つことがポータルの第一条件となる。では先の4社がこぞってポータルとして名乗りを上げる狙いはどこにあるのか。それは自社のサイトを「一等地」にすることにつける。アクセス数を増やすと同時に、パートナーの運営するサイトに確実にユーザーを導けば、検索サイトの収入源である広告の価値が大幅に上がることになる。

もう1つの流れとして、商業オンラインサービス系の動きも見逃せない。アメリカ・オ



マイクロソフトのInternet start
URL <http://home.microsoft.com/>

ンライン（AOL）はエキサイトとの提携でポータル戦争に参戦した。こちらは圧倒的な会員数と充実したコンテンツが武器だ。これに検索機能が加われば、十分に一等地としての価値はある。

キーワードは統合と個別化

ポータルサイトの主導権争いは、インテグレーション（統合）とパーソナライゼーション（個別化）の2つのキーワードをめぐる競争となっている。

「統合」という点では、デパートに有名ブランドを集めるのと同様に、いかに優れた商業サイトと提携するかがテーマになる。「今日のポータル提携」というニュース見出しができるほど、毎日のように検索サイトと大物ウェブサイトとのパートナーシップが生まれている。書籍の「アマゾン・コム」と「パルンズ&ノープル」、音楽の「CDナウ」と「N2K」、旅行の「トラベロシティー」と「トリップ・コム」などが次々にポータルサイトとの契約を結んでいる。

さらに、検索機能と同様にポータルに不可欠なものとなりつつあるのが「個別化」だ。ユーザーの趣味や好みを登録しておき、スタートページをパーソナライズする。これによって、広告主はよりターゲットを絞った広告を出せるようになる。「マイニュース」、「マイデスクトップ」などのサービスが今後もっとも重要になっていくはずだ。

インターネット・ニュースの見方

ブラウザベンダーの有利性

もう気づいたかもしれないが、ポータルサイトとして非常に有利な企業が2つある。インターネットエクスプローラとナビゲーターのそれぞれの開発元であるマイクロソフトとネットスケープだ。ユーザーがWWWブラウザをセットアップしたまま設定を変えなければ、起動時にそれぞれ自社のスタートページが表示されるのだ。

ネットスケープのアプローチは早かった。昨年、ホームページをバーチャルコミュニティとする意向を発表し、その名も「ネットセンター」がスタートした。今年は、エキサイトやトラベロシティーとの提携で「ネットセンター2000」と名前を変え、ポータル宣言を果たす。さらに、独自の試みとして自社のサーバー製品のアウトソーシングやソフトウェアのオンライン販売などをサービスに加えた。

マイクロソフトも静かにポータル市場に参入してきた。マクROMEディアフラッシュを使った派手なスタートページが、軽くてシンプルな作りの「internet start」に生まれ変わった。無料で使えるウェブメールサービス「ホットメール」など、コンテンツもそろい始めているが、ネットセンターほどのコンセプトはまだ見えない。マイクロソフトがどのようなアプローチでこの市場に打って出るのか、競合他社にとっては不気味な存在である。

やすくなる。都市に張りめぐらされた地下鉄に乗るように、目的のサイトにアクセスしやすくなる。加えて、個別化によってユーザーごとにパーソナライズされたスタートページを持てるようになる。

かつて、プッシュ型メディアの纏い文句は「広大なインターネットの海原に出て行かなくても欲しい情報が得られる」だった。しかし、実際に送られてくる情報は通り一遍のものにすぎず、ユーザーのニーズに応えるまでにはいけなかった。実は、インターネットのユーザーは、高機能な羅針盤さえあれば自分で航海したいのではないだろうか。この意味で、ポータルサイトが今後ユーザーにとって有益なものになっていく可能性は大きいような気がする。

次に求められるのは「差別化」

今後が楽しみなポータルサイトにも、1つだけ気になることがある。統合と個別化を競い合う中で、どれも同じような顔になっているということだ。検索サイトと大手通販サイトの提携、無料のメールサービス、ニュースの配信、そしてパーソナライズ。どのポータルサイトにも同じようなメニューが並ぶ。これでは、ユーザーが自分の入り口を選ぶ決め手をなくしてしまうだろう。

この意味で、ディズニーがインフォシークとの提携で始めた「ディズニーインターネットガイド」(DIG)は注目に値する。子供と家庭向けにポータルサービスを提供するDIGでは、ポルノなど子供に見せたくないサイトにアクセスできないようになっている。ただ案内するだけでなく、不適切なところに行けないようにするという発想はなかなかおもしろい。このような特色があつてこそ、「入り口を選ぶ」理由が生まれるのではないだろうか。

ポータルは、実生活でも「都市」に魅力を感じているユーザーにとっては、非常に有効なサービスとなるだろう。各社がしのぎを削る中で、東京やニューヨーク、パリ、香港のように、さまざまな特色を持ったポータルサイトが登場することを期待したい。

ユーザーにとってのメリット

さて、ポータルサイトの登場はユーザーにどのようなメリットをもたらすのだろうか。

おそらく、冒頭で述べたように「大都市の機能」と同じ恩恵があるのではないだろうか。優れた検索エンジンによって欲しい情報を探しやすくなる。大手通販サイトとの提携によって買いたい商品を手に入れ



ネットスケープのネットセンター2000
URL <http://home.netscape.com>

すべてのデバイスがネットワークにつながる Javaベースの次世代ネットワーク環境 「Jini」を発表

7月15日より開かれているJavaコンピューティングエキスポ'98の基調講演で、サン・マイクロシステムズは次世代のネットワーク分散コンピューティング環境である「Jini（ジニー）」について発表した。今回はJiniがどのようなものであるかを同社のサイエンスディレクターであるジョン・ゲイジ氏に聞いた。

編集部



サン・マイクロシステムズ サイエンスディレクター
ジョン・B・ゲイジ氏
Photo:Nakamura Tohru

さまざまなデバイスが独立して 協調作業を行える

ネットワークにさまざまなデバイス（機器）がつながり、それぞれのデバイスが協調して1つの処理を行う。今後、CPUやメモリー、ディスクといったコンピュータ製品から家電やスマートカードのような小さなデバイスまでがネットワークにつながり、それぞれが分散して協調処理を行うことが予想される。そのインフラの基盤となるのがJiniであるという。

ジョン・ゲイジ氏は次のような例を引き合いに出しながら、Jiniの特徴を語っている。

「Jiniはネットワークにおける究極のプラグアンドプレイ機能のようなものです。Jini対応のJavaコンポーネントを搭載した各種処理を行うプロセッサとディスク、ビデオカメラが独立して存在するとします。それぞれのデバイスは、搭載されたJavaコンポーネントによって自分が何ができるかをわかっているわけです。

これらのデバイスをネットワークにつなげると、それぞれが準備ができたことをネットワーク上にある協調処理を管理するJavaSpacesにアナウンスします。ビデオカメラで撮影したものをディスクに保存しておきたい場合、ビデオカメラは処理を行うプロセッサをJavaSpace上で見つけ出し、またプロセッサは保存するディスクをJavaSpaces上で見つけ出して処理を始めます。この見つけ出す作業にディスカバリープロトコルというプロトコルを使います。

また、ディスクを一度は必ずと処理がいったん中断されますが、別の場所でディスクをネットワークにつなぐと、プロセッサがディスカバリープロトコルによってディスクを確認して処理が再開されます。」

このようにそれぞれのデバイスが何ができるかがわかってさえいれば、ネットワーク上で複数のデバイスが協調して1つの処理を行えるような環境を提供するのがJiniである。

分散コンピューティングの 基盤技術となる Jini

上記のような環境を提供するJiniは、同社の創設者の1人であるビル・ジョイのプロジェクトによって開発されている。

Jiniは同社がすでに発表しているJavaベースのネットワーク分散処理のためのアーキテクチャーであるJavaSpacesやJavaRMIの上のレイヤーに位置し、さまざまなデバイスに対して分散環境を提供する基盤技術となる。

ソースコードを公開し 質の向上と標準を目指す

サン・マイクロシステムズではこのJiniのソースコードを今後60日以内（現在は7月15日）に公開するという。ソースコードを公開することによってJiniがUNIXのようなオープンなものとなり、よりよいものになると同社では考えているようだ。この方法をとることにより新しい標準技術として多くの企業が採用することも予想している。こ

のようにソースコードの公開は、ソフトウェアの質の向上や技術の標準化という面からもJiniをよい方向へ進ませてくれるというわけだ。また、ソースコードを公開することによって、能力と意志さえあれば小さな企業などがこの新しい技術を使って製品を作ることができ、ビジネスチャンスも生まれるという。すでに、日本の企業を含む15社がJiniの採用を決定して開発を進めているとのことだ。

注目される新しい 分散コンピューティング環境

ジョン・ゲイジ氏によると、今後分散環境でのセキュリティに関するコンポーネントが出てくる可能性はあるものの、サン・マイクロシステムズの提唱する「ネットワーク・イズ・コンピュータ」のコアとなる最終的なコンポーネントがJiniとなるようだ。

また、同氏はマイクロソフト社も同種のような分散コンピューティング環境を実装することを考えていることにも触れた。マイクロソフトの開発しているものがJiniと同様なものであれば、分散コンピューティングを発展させるものであり、歓迎すると強気の姿勢を見せていた。

また、米国ではすでにワイアード誌によって特集が組まれるなど、Jiniの注目が高まっており、多くの企業が期待を寄せているという。

最新のウィンドウズ製品が集結 WINDOWS WORLD Expo/Tokyo 98

今年で7年目を迎えるウィンドウズパソコンの祭典「WINDOWS WORLD Expo/Tokyo 98」が、7月1日から4日まで、千葉県の大幕メッセ(国際会議場)で開催された。今年もウィンドウズ98を目玉に、パソコンの新製品が揃ったうえ、天候に恵まれたこともあって連日賑わいを見せ、昨年を約13,000人超える217,759人が会場を訪れた。

編集部

「WINDOWS WORLD Expo/Tokyo 98」イベント会場



ウィンドウズ98の登場

「WINDOWS WORLD Expo/Tokyo 98」は、ウィンドウズ関連製品とその最新技術がわかるイベントとして、例年、一般ユーザーから企業まで、幅広く関心を集めている。今年も、最新OSのウィンドウズ98がイベント開催後の7月25日に発売されるということで、ウィンドウズ98日本語版をインストールしたマシンが数多く展示され、「気軽にウィンドウズ98を試せる」環境を提供、アプリケーション起動の速さを体感できるブースが目立った。

また、ウィンドウズ98は周辺機器との接続を簡単にする最新インターフェイスのUSBをフルサポートしている。このため、USBを持ったキーボードやマウス、TA、スキャナー、スピーカーなどの周辺機器がいれたところに展示されていた。

マイクロソフトのブースは、新製品紹介コーナーやデモンストレーション会場が身動きができないほど盛況で、なかでも、家庭へのマルチメディア環境を提案するゲームコーナーなどが一般ユーザーの足を止めていた。



NECブースで展示されたUSB仕様の周辺機器

モバイルコンピューティングに注目

近年のモバイルブームも手伝い、新製品目白押しで多くの注目を集めていたのが、ノート型パソコンである。イベント開催前日に発表になった東芝のSSシリーズynaBook SS PORTEGE 3000/PORTEGE 6000やNECの「Lavie NX」新シリーズのB5スリムノート、松下電器産業の新Let's note「Let's note/S21」と「Let's note mini/M32」、さらにソニーも年内の発売を予定している参考出展品VAIO NOTEなどがあつた。

東芝のブースでは、各モデルごとに大きくスペースを取り、実機のほか本体を分解して内部を展示。世界最小、最軽量の「Libretto SS 1000」など、ミニノートの王道「リブレット」を存分にアピールしていた。参考出展のソニーのVAIO NOTEは、リブレットに似たミニノートで、CCDカメラを搭載。OSはもちろんウィンドウズ98で、標準でPCMCIA Type、USB、ディスプレイポート、マイク、モデムを装備。ディスプレイは1024 x 480ドットのTFT液晶と、これ1台でOKの実用機だ。CCDカメラは、デジタ



CCDカメラ搭載のソニーのVAIO NOTE

ルカメラとの接続の煩わしさをなくし、メカの苦手な女性でも気軽に撮影、撮った画像を簡単にメール送信できるコミュニケーションツールであるとしている。この試作機は年内発売をめどに開発が進められているという。また、カシオでも800 x 600ドットの6.7インチSVGA TFT液晶を搭載したA5サイズミニノートを参考出展。ウィンドウズ98を搭載した「CASSIOPEIA」ブランドの製品で、こちらも年内の発売を予定している。

ミニノートが全盛の感があるなか、携帯電話やPHS関連の通信メーカーもモバイル向け製品を出展。当分モバイル熱は冷めそうもない。

Computer Telephony World Expoでも注目の新ソリューション

一方、併催された「Computer Telephony World Expo」でも、興味を引くソリューションが出展された。インターネットで製品情報を収集する際、その問い合わせアイコンを押すとインターネット経由で自動的にカスタマーセンターに電話がかかるシステムが数社で提案された。コールセンターのクライアントマシンはすべてウェブで管理され、ユーザーと同一画面を見ながらの対話形式で応答することも可能。さらにユーザーはメーカーからのレスポンスをメールや折り返し電話、時間帯などから細かく選択できるという。CTI分野でも、ウィンドウズ98が得意とするインターネットとの連動が急速に進展しているのがうかがえた。

プラグイン不要、専用サーバー不要 ストリーミング対応マルチメディアウェブテクノロジー「Emblaze」

GEO Interactive Media Group 社(以下 GEO)は、インターネットに特化したマルチメディアオーサリングツールの開発を行っている。「Emblaze.Creator」をはじめとする同社のソフトウェアで作ったコンテンツは、一般のウェブサーバーでストリーミング配信できる。プラグインやActiveX コントロールなしで再生できるのが特徴だ。この7月にプロモーションのために来日した同社営業開発担当副社長ジヴ・エリラス氏に話をうかがった。 藪 暁彦



GEO 社営業開発担当副社長
ジヴ・エリラス氏

Emblaze のキャッチフレーズは
No-Plug In! No-Server!

アニメーションやビデオ、3D グラフィックが動き、サウンドが鳴る。プラグインやActiveX コントロールの出現は、WWW をより魅力的なメディアに変えた。その功績は大きい。WWW ブラウザーの利用者は追加プログラムのダウンロードやインストールといった負担を強いられることになる。

GEO はそこに目を付けた。同社が開発したEmblaze.Creator をはじめとするツールで作ったコンテンツの再生には、プラグインもActiveX コントロールも必要ない。WWW ブラウザーだけで、28.8Kbps モデムでもダイナミックな動くウェブページを見られる。しかもストリーミング再生だ。ただし、条件が1つある。Java のサポートだ。

GEO のツールで作ったコンテンツは、アクセスするユーザーばかりでなく、情報を配信する側にとってもメリットがある。通常、サウンドやビデオをストリーミング再生するには、高価な専用サーバーが必要だ。ところが、GEO のツールに専用サーバーは必要ない。ごく一般的なWWW サーバーで、ストリーミング配信ができるのだ。

Emblaze を支える 3つのコアテクノロジー

GEO は現在、「Emblaze」という名称で統一した6種類のツールを販売している(以下、Emblaze を省略)。静止画像を驚くほど小さなサイズに圧縮する「Web

Charger」, アニメーションボタンやポップアップメニューを作る「HotSpots」, ストリーミングオーディオを作る「Audio」, ストリーミングビデオを作る「Video」, ビデオとサウンドを同期してストリーミング再生のできる「VideoPro」, これらのツールを1つにまとめたオーサリングツール「Creator」の6種類だ。

Emblaze シリーズの開発に先立って、GEO はまず3つの技術を開発した。1番目が圧縮技術。WebCharger は、175K バイトの画像データを10K バイトまで圧縮できる。JPEG 形式と比べて5倍の圧縮率だ。しかもWeb Charger は圧縮率を部分的に変えられる。たとえば、人物写真を顔の部分だけ画質を落とさずに圧縮できるのだ。また、サウンドは最大50分の1、ビデオは最大200分の1に圧縮できる。

2番目がインターネットに特化したストリーミング対応のファイルフォーマット、3番目が高圧縮率のファイルを復元しながら再生するJava アプレットの開発だ。この3つの技術が、プラグインやActiveX コントロール不要、特別なサーバー不要のストリーミング再生を可能にしたのだ。

秋にはライブフィード対応の サウンドツールを発売

現在、GEO は3D グラフィック作成ツール「Emblaze.3D」の開発を進めている。3D はVRML でモデリングしたデータを取り込んで、従来の10分の1までデータを圧縮

できる。ウェブ上の3D グラフィックをさらに身近にしてくれそうな3D に興味津々だが、同時に「Emblaze.LiveFeed」の開発にも取り組んでいる。オーディオ対応のLiveFeed Audio を今年8～9月にリリースし、ビデオ対応のLiveFeed Video も来年発売の予定だ。

LiveFeed は、名前から想像できるとおり、ライブ放送システムだ。インターネット対応のライブ放送システムはすでいくつかあるが、LiveFeed はこれらのシステムと一線を画するきわめてユニークな特徴を備えている。Emblaze シリーズのほかのツール同様、特別なサーバーを必要としないのだ。しかもデータのエンコードから送り出しまで、すべてソフトウェアだけで処理するという。にわかには信じがたいLiveFeed の仕組みを、エリラス氏はこう説明してくれた。

「基本的な仕組みは、ウェブデータをサーバーにアップロードするのと同じだ。データをアップロードしながら、同時にサウンドやビデオをエンコードし続ける。これが一般的なアップロードと違う点だ。アップロードするサーバーを増やすことで、放送の規模はいくらでも大きくできる」

しかも、価格は既存システムの10分の1程度の数千ドルを予定しているという。もしこれが事実なら、LiveFeed はインターネットライブ放送の概念を変えることになるだろう。LiveFeed Audio の発売時には、アメリカをはじめ日本でもイベントが開催される。そのとき、このユニークなツールの正体がわかる。耳を凝らしてその実力のほどを確かめたいし。

Product エレコムが
DSU内蔵型のダイヤル
アップルーターを発売

エレコムは、DSUを内蔵したダイヤルアップルーター「VIA LOOP 6010」を8月3日に発売する。デジタル専用線およびISDN、PIAFSに対応しているほか、ナンバーディスプレイやフレックスホンに対応したアナログポートを2つ装備。10BASE-Tポートは1つで、DHCPサーバー機能を持ち、設定ユーティリティを付属、フィルタリングや認証機能を搭載している。価格は68,800円。

問い合わせ エレコム㈱Laneedサポートセンター
TEL 03-3444-5571



本体寸法はW180 × D139 × H66.5 (mm)

Product アイ・オー・データ機器が
1つのモデムやTAを共有
できるIPルーターを発売

アイ・オー・データ機器は、1つのアカウントで複数のユーザーが同時にインターネットを利用できるIPルーター(インターネットシェアリングサーバー)「ET-IPS」を7月末より販売する。これを現在使っているモデムやTAに接続すると、複数ユーザーがLAN上でモデムやTAを共有でき、インターネットへの接続をローコストに抑えることができる。ET-IPSは10BASE-T/2対応で、価格は39,800円。DHCPサーバー機能を搭載。

URL <http://www.iodata.co.jp/>



WWWブラウザで簡単に設定できる

Product プロバイダーのIIJが
ダイヤルアップルーター
「SEIL」を発売

インターネットイニシアティブは、IIJの各接続サービスのオプションとして、家庭内など小規模なLAN環境向けのダイヤルアップルーター「SEIL(ザイル)」を8月より発売する。特徴として、動画や音声など、大容量のコンテンツの配信技術として注目されているIPマルチキャスト機能を実装している。価格は29,000円で直販のみ。同時にアナログポートを2つ装備した同デザインのDSU「IIJ DSU」も24,800円で発売する。

URL <http://www.iiij.ad.jp/whatsnew/seil.html>



IIJの各接続サービスの簡易設定機能を搭載

Product テレコムデバイスが
SOHO向けダイヤル
アップルーターを発売

テレコムデバイスは、7月16日、次世代SOHO向けダイヤルアップルーター製品の第一弾「NetCruz」を8月17日に発売すると発表した。DSU切り離しやBOD、DHCPサーバーなどの一般的な機能をすべて装備している本製品の特徴は、ISDN U点の極性反転自動認識機能や10BASE-T/100BASE-TXのLANの共存(オプション) 停電対策用バックアップバッテリー、雷対策、すぐれたルーティング能力など。価格は68,800円。

URL <http://www.tcd.co.jp/>



スケジュール機能で自動接続/切断の設定が可能

Product オムロンが
V.90とK56flex両対応
の外付けモデムを発売

オムロンは、国際電気通信連合(ITU)が提唱するV.90と米ロックウェル社が提唱するK56flexの両規格の通信方式に対応した外付けタイプのボックス型モデムを6月27日に発売した。価格はACアダプタータイプ(ME5614D)が17,800円で、電源内蔵タイプ(ME5614E)が21,800円。ともに、大容量2MバイトのフラッシュROMを搭載しているため、ファームウェアのバージョンアップも簡単に行える。

URL <http://www.omron-ped.com/>



本体寸法はW130 × D175 × H33(mm)

Product TDKが
V.90とK56flex両対応
のPCカードモデムを発売

TDKは、マルチOS対応の56Kモデム「DF5600DX」を7月3日に発売した。この製品はウィンドウズ98/95/CE2.0/NT4.0とマッキントッシュに対応しているほか、国際標準規格V.90と米ロックウェル提唱K56flexの両方の規格に対応している。データ通信は受信時に最高56Kbps、送信時に最高33.6Kbpsをサポート。これで、PCカードで定評のあるTDK製品のラインアップがさらに強化された。価格は23,800円。

URL <http://www.tdk.co.jp/>



動作確認済みパソコン機種がウェブに掲載されている

Product PCIが
ファーストイーサネット対
応スイッチングハブを発売

ブラネックスコミュニケーションズは、オートネゴシエーション機能付きの100BASE-TX/10BASE-Tスイッチングポートを1つ持ち、さらに100BASE-TXリピーターポートを4ポート装備したハブ「FHSW-5010NF」を発売した。これにより、100BASE-TXと10BASE-Tが混在するネットワークの構築が可能で、ファーストイーサネットへの移行に最適である。スイッチングポートの使用で最大7台までFHSW-5010NFを接続できる。価格は38,800円。

URL <http://www.planex.co.jp/>



カスケード接続用のUplinkポートを装備

Product アクシスが
プリントサーバーの価格を
最大43%の大幅値下げ

アクシスは、7月1日からプリントサーバー4機種を対象とした最大43%にも及ぶ価格引き下げを実施した。100BASE-TX/10BASE-T自動認識機能を装備した3ポートプリントサーバー「AXIS PrintPoint 560/100」の旧価格78,000円が69,800円になったほか、10BASE-T/10BASE-2対応のAXIS 560は74,800円が54,800円に、シングルポートのAXIS 540+(10BASE-T対応)とAXIS 542+(10BASE-2対応)はともに61,200円が34,800円に変更された。

URL <http://www.axiscom.co.jp/>



価格が変更になったAXIS PrintPoint 560/100

Product アライドテレシスが
10M/100Mbps対応の
LAN PCカードを発売

アライドテレシスは、PCMCIA対応10M/100MbpsのLAN PCカード「Centre COM LA100-PCM-T V2」を7月15日に発売した。10BASE-Tと100BASE-TXオートネゴシエーション機能を持つPCカード型のLANアダプター。動作可能機種はPC-AT機、PC-9800シリーズ、PC98-NXシリーズで、OSはウィンドウズ95/NT4.0をサポート。価格は28,700円。

問い合わせ アライドテレシス㈱
TEL 0120-860-442



ウィンドウズ98にも対応予定

Product メルコが
PCMCIA LANカードと
メディアカブラを発売

メルコは、ウィンドウズCE 2.0対応のPCMCIA用LANカード「LPC2-T」を6月24日に発売した。10BASE-T用のPCカードで、対応機種はDOS/V機、PC-98NXおよびPC-9800シリーズのノートパソコン(PC-9821Ne以前は除く)また、このLPC2-T専用の10BASE-T/2用メディアカブラ「ET2-MC2」も同時発売。RJ-45とBNCコネクタの変換機になっている。価格はLPC2-Tが9,800円、ET2-MC2が4,980円。

URL <http://www.melcoinc.co.jp/>



PCMCIA Type のLANカード「LPC2-T」

Product SIIがTwo LINK DATA
対応のPCカード型
PHSを発売

セイコーインスツルメンツは、DDIポケットグループが提供する「Two LINK DATA」に対応したデータ通信用のPCカード型PHS「MC-P110/TD」を8月7日に発売する。-DATA32に対応し、PIAFS手順、無線モデム手順、無線インターネット手順をサポート。内蔵アンテナを採用。ウィンドウズ95/NT4.0/CE、漢字Talk7.5.2以降のマックintosh、各種PDAで動作可能。

問い合わせ セイコーインスツルメンツ㈱
TEL 0120-052-440



音声通話はオプションのイヤホンマイクで可能

Product 京セラが132万画素
CCDと3倍ズームの
デジタルカメラを発表

京セラは、縦型カメラ「SAMURAI」のデジタルカメラ版「SAMURAI 1300DG」を発表した。総画素数132万画素CCD(1/2.7インチ正方面素)と光学式3倍ズームレンズを搭載した高機能モデルで、パープルカラーの独特な縦型フォルムが特徴。中心解像度が200本/mmの高解像度レンズで写真画質並みの撮影ができる。8MバイトのCFカードを装備。価格は89,800円。

問い合わせ 京セラ㈱光学機器事業本部
TEL 03-3708-3114



ノーマルモードで160枚の撮影が可能

Product オリンパス光学工業が
230MB対応
MOドライブを発売

オリンパス光学工業は、230MバイトMOドライブのエントリーモデル「230MO TURBO BLACK /WHITE」を発売した。SFPピックアップのリファイン、25msのシークタイム、700gの軽量ボディーなどが特徴。価格は、本体とMOディスク、ユーティリティソフトのセット(標準セット)が46,000円。このほかに、Macセット(50,000円)、ノートPCセット(61,000円)、本体のみ(44,000円)などがある。

問い合わせ オリンパス光学工業株式会社
カスタマーサポートセンター
TEL 0426-42-7499



縦置きも横置きも可能。ACアダプターは80gと小型

Product エプソンダイレクトがウインドウズ98を搭載したミニタワーとサブノートを発売

エプソンダイレクトは、ウインドウズ98を搭載したミニタワー「Endeavor VZ-4000」とサブノート「Endeavor TK-300」を8月上旬に発売する。VZ-4000は、CPUにPentium 400MHz(または350MHz)を搭載。TK-300はA5ファイルサイズで、MMX Pentium 233MHzのCPU、4.3GバイトのHDD、9.2インチSVGA TFTカラー液晶モニター、PCカードスロット3基を標準搭載している。

問い合わせ エプソンダイレクト(株)
TEL 0120-545-101



重量1.25kg(バッテリーパック2本)の「Endeavor TK-300」

Product ソニー・ミュージックコミュニケーションズがネットワーク対戦ゲームを発売

ソニー・ミュージックコミュニケーションズは、戦車を操作し、3D戦場でリアルタイムに敵戦車と戦う「TANARUS 日本語版」を8月21日に発売する。プレイヤーは専用のサーバーにアクセスする。一対一の対戦はもちろん、ほかのユーザーと5人のチームを組んで敵のチームと戦うこともできる。チャットで作戦を練ったり、味方を裏切ったりという楽しみ方も可能。価格は6,500円(予価)で、課金が1か月1000円。

URL <http://netgame.net/>



ウインドウズ95専用のネットワークゲーム

©1997 Sony Computer Entertainment America Inc.

Product マクロメディアがウェブグラフィック作成編集支援ソフトを発売

マクロメディアは、ウェブグラフィックスやGIFアニメーションを簡単に作成でき、作成後も編集作業がラクにできるホームページ作成支援ツール「Macromedia Fireworks J」を8月7日に発売する。これはウェブデザイナーなどのプロフェッショナルユースにも堪えうる製品であるが、グラフィックをコンパクトに、かつ少ないステップで簡単に作成できる。ウインドウズ版、マッキントッシュ版ともに39,800円。

URL <http://www.macromedia.com/jp/>



ウェブグラフィック作成環境を1つに統合

Product シマンテックがホームページ作成ソフトをグレードアップ

シマンテックは、ホームページ作成ソフト「Symantec VISUAL PAGE 日本語版」をバージョン2.0にグレードアップして7月17日より販売を開始した。変更点は、自動リンクチェック機能やプロジェクトマネージャー機能などの「サイトマネージメント」の搭載、カスケーディングスタイルシート(CSS)への対応などがある。価格は16,800円。ウインドウズ95/98/NT4.0版のみ。

問い合わせ (株)シマンテック カスタマーサービスセンター TEL03-3476-1156

URL <http://itools.symantec.co.jp/>



ウェブページの構造が一目でわかる

Product アスキー・サムシンググッドがホームページ更新ツールを発売

アスキー・サムシンググッドは、ホームページを簡単に更新できるツール「My SITE!」を8月7日に発売する。ホームページ更新用の「サイトアップローダ」とエクスプローラにFTPクライアントの機能を統合した「FTPクライアント」、表示内容のバックログ機能を持つ「TELNETクライアント」で構成され、用途に合ったツールが利用でき、各ツールは個別にウェブ上でも購入可能。パッケージ版は6,800円。

URL <http://www.asg.co.jp/>



ウインドウズ98/95/NT4.0用

Product ディアイエスが
イントラネット対応帳票
作成支援ツールを発売

ディアイエスは、イントラネットに対応した、入力システムと帳票印刷システムの同時生成などを可能にした帳票支援ツール「Visual Forms Assist」を7月13日に発売した。多様な罫線が使われている帳票処理が、図形ツールのようにマウスで作成できたり、Active XコントロールをHTMLに組み込んで帳票をWWWブラウザから入力するシステムなどを構築できる。価格は198,000円から。ウィンドウズ95/NT 4.0対応。
URL <http://www.dis.co.jp/>



入力項目も多彩で、編集もできる

Product デジタルアーツが
インターネット加速ユーテ
ィリティー最新版を発売

デジタルアーツは、見たいホームページやリンク先を先読みして、快適なネットサーフィンを実現する加速ユーティリティーソフトの最新バージョン「スピード2」を7月25日に発売した。選択式先読み機能のほか、従来の製品にはなかった自動先読み機能を追加し、リンク先の指定で速度は40倍までアップ。また、気に入ったホームページを保存でき、オフラインリーディングも可能になった。価格は5,800円。

問い合わせ デジタルアーツ(株)
TEL 03-5485-1330



インターネットエクスプローラ4.0用のソフト

Product ウィニングランが
ウィンドウズ98対応
先読みソフトを発売

ウィニングラン・ソフトウェアは、ネットサーフィンを高速化するソフト「ウィンドウズ98対応版「Speed Surfer」を5,800円で発売した。Speed Surferは、ホームページにあるリンクを先読みすることで次のページの表示を早くするというソフト。また、ZIP形式に対応した圧縮・展開ツール「Zip-It」をバンドルした「Speed Surferボーナスパック」も同時に発売。価格は8,800円。

URL <http://www.winningrun.co.jp/>



ネットサーフィンを高速化する「Speed Surfer」

Product NECがスカイ
パーフェクPC!対応
受信ボードを発売

NECは、昨年発売した地上波データ放送、TBS系のビットキャストとテレビ朝日系のADAMS対応の受信ボードPS-NX9414-C1(ウィンドウズ95用、49,800円)に続いて、スカイパーフェクPC!の衛星放送とデータ放送対応ボードを発売した。衛星とデータの両放送が受信できるPK-UG-X004は69,800円、データ放送のみの受信ボードPK-UG-X005は35,000円。いずれもウィンドウズ95用となっている。

URL <http://www.psinfo.nec.co.jp/SkyPPC/>



PK-UG-X004は衛星とデータの両放送が受信できる

Product トレンドマイクロが
セキュリティソフト
の最新バージョンを発売

トレンドマイクロは、インターネットウイルスと未知マクロウイルスに対応したセキュリティソフトの最新版「ウイルスバスター98」を6月26日に発売した。ウィンドウズ98に対応し、インターフェイスを一新した使いやすさに加え、新型検索エンジンの開発で、ウイルスの発見や検知の機能が大幅にアップ。ウェブサイトからのウイルス侵入を防ぐ新技術「WebTrap」搭載。価格は8,500円。

URL <http://www.trendmicro.co.jp/>

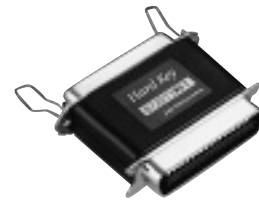


インターネットエクスプローラ4.0用のソフト

Product 十条電子が
インターネット対応セキュ
リティーデバイスを発売

十条電子は、パソコンのデータを自動的に暗号化してデータの流出を防ぐセキュリティーシステム「HardKey Ver.2」を7月1日に発売した。ハードディスクなどのデータを暗号化してデータの流出を防ぎ、ウィンドウズ環境のLANに対応、暗号ファイルの共有が可能。データのフォーマットやファイルサイズに制限がなく、画像データも暗号化でき、電子メールの添付ファイルも暗号化して送信できる。価格は19,800円。

URL <http://www.saitama-j.or.jp/jujo/>



暗号の種類を入れたHardKey Boxで視覚的な管理が可能

Product ネットワークアソシエイツがセキュリティー対策の製品群を発表

ネットワークアソシエイツは、ウイルス対策ソフト「McAfee Total Virus Defense Suite」に、暗号と認証、不正侵入検知、ファイアウォール防御の機能を含む「PGP Total Network Security」製品群を追加し、日本市場に投入すると発表した。「Net Tools Secure」のコンセプトのもと、ウイルス対策のMcAfeeや、暗号と認証製品のPGP、ファイアウォール製品のGauntlet、不正侵入検知とセキュリティー監査のCybercopといった全セキュリティー製品群が揃って、あらゆるニーズに対応できる。8月末までにはこれら全製品が発売され、このトータルセキュリティーソリューションで、システム構築の工数減や価格メリットでTCO削減が期待できるとしている。

URL <http://www.nai.com/japan/>

Product Secure ComputingがVPNを構築するセキュリティーソフトを発売

Secure Computingは、既存のファイアウォールを崩さずにセキュリティーを強化するソフト「SecureWire Ver. 1.5」を日本市場に投入する。ウィンドウズNT(SBS)およびUNIXサーバー上で動き、イントラネット、エクストラネット、ファイアウォール、ECのセキュリティーをこのソフトを介することでさらに強力にする。用途としては、ベンダー向けにメーカーが在庫情報をウェブを利用してリアルタイムに公開したり、各種製品情報を顧客向けに提供したりといったもので、アクセスする相手によってどの情報を流すかといったことをこのソフト上でパスワード制限するようになっている。このため、VPN環境も構築できる。価格は約230万円(5ライセンス)から。

URL <http://www.securecomputing.com/>

Product ブレーンが内外メールを統合したグループウェアを発売

ブレーンは、メールを社内および社外のグループで利用しているユーザー向けに、インターネットとオフィスのメールを統合するメールプラットフォーム「PROXY-MAIL」を7月30日に発売する。メール機能に特化し、既存のグループウェアの、電子メールや掲示板以外の使用頻度の少ない機能も多く組み込まれソフトのサイズが大きく高コストというデメリットを解消。グループウェアを利用していないユーザーがメールから始めたいといった場合に最適なソフトである。これを使うと、複数ユーザーでメールアカウントを共有できる。さらにオフィス内のメール送受信やメーリングリスト構築も可能。価格は89,800円(1サーバー)。問い合わせ (株)ブレーン パッケージ開発部 TEL 042-582-0228

Product ブルがJavaカードアプリケーション開発キットを発表

ブルは、Java ICカードの「Odyssey」およびJava ICカードのアプレット開発やテストなどを行うために必要なすべてのツールをセットにした開発キット「Odyssey Lab」を6月15日に発表した。Odysseyは、セキュアなICカードで、切り分けられたメモリー区画への書き込みを管理し、アプレットローダーの利用で、署名を付けた暗号化されたりしたアプリケーションをカードにダウンロードできる。

URL <http://www.jatobull.co.jp/>



Odysseyの紹介ページ

Product ランドポートがMP3対応の統合パッケージ「MP3 STUDIO」を発売

ランドポートは、動画と音声の圧縮規格MP3(MPEG Audio Layer 3)に対応したソフトウェアプレイヤーとソフトウェアエンコーダーの統合パッケージ「MP3 STUDIO」を8月8日から発売する。主な特徴として、インターネットからのリアルタイム再生、プレイリスト機能によるアルバム化などが。ウィンドウズ95/98/NTに対応。価格は7,800円。2,500円で多機能なUnreal Player MAXへのアップグレードが可能だ。

URL <http://www.landport.co.jp/mp3/>



MMX、AMD 3D NOW!などに対応するMP3プレイヤー「Unreal Player」

Product アンテナハウスがウィンドウズ98に対応したデータ変換ソフトを発売

アンテナハウスは、一太郎やMS Wordなどのワープロソフトと文豪やOASYSなどのワープロ専用機のデータを変換するソフトのウィンドウズ98対応版「リッチ・テキスト・コンバータ98」を発売する。表計算ソフトのデータの交換やHTML3.2への変換にも対応している。価格は46,800円(8月19日発売)。変換対応ソフトの中から1組選択して使用するパーソナル版が15,000円。問い合わせ アンテナハウス ㈱お客様窓口 TEL 0426-21-2569



MacWrite などマッキントッシュのソフトにも対応している

Product IBM、ジャストシステム、 オリンパスが音声認識 技術で協業態勢を発表

日本アイ・ピー・エム、ジャストシステム、オリンパス光学工業の3社は、音声認識技術を活用した製品に関し、共同開発・協業態勢を敷くことを6月24日に発表した。日本アイ・ピー・エムの開発した日本語音声認識ソフト「ViaVoice98」をもとに、ジャストシステムはこのViaVoiceの音声認識エンジンを搭載した日本語IMEの「Voice ATOK」を発売する。また、オリンパス光学は、簡単に録音ができ、録音した音声パソコンを使って文字変換できるボイスレコーダー「Voice-Trek」を発売。Voice-Trekで録音した音声データをパソコンに取り込んで、文書化ができる。この音声認識エンジンにもViaVoiceのエンジンが利用され、3社は開発段階からすでに協業している。

URL <http://www.justsystem.co.jp/news/>

Service ポイントキャストネット ワークに高校野球速報な どの新コンテンツを追加

ポイントキャストは、インターネット情報配信サービス「ポイントキャストネットワーク日本語版」で、7月31日から新コンテンツを提供する。配信されるのは、スポーツチャンネル内に追加されるプロゴルフ競技情報のほか、東証上場（一部・二部）企業の相対評価情報、さらに、8月6日から開催される第80回全国高校野球選手権記念大会の試合結果速報などである。また、日経BP BizTechチャンネルの情報コンテンツに新たに「放送・通信」、「雑誌最新号」を新設する。ユーザーは7月31日以降にポイントキャスト画面に表示されるアップグレードボタンを押すと、ソフトウェアが自動的に更新され、追加コンテンツを入手できる。

URL <http://www.pointcast.ne.jp/>

Service 東芝が24時間内に新規/ 更新したページのウェブ 検索サービスを開始

東芝は、12～24時間前に新規にオープンまたは更新されたウェブページが検索できる新しい検索サービス「フレッシュアイ」を6月30日より開始した。このサービスでは、「情報の鮮度」と「検索結果の質」を重視し、過去1か月以内に作成されたページだけを表示するため、存在しないページの情報を検索結果として表示せず、有用な情報だけを入手できる。インターネット上を自動巡回して最新情報を収集するロボット技術によってデータベースに登録され、独自のフィルタリング技術で検索の質を高めている。さらに、サイト管理は専任の「フレッシュアイ編集部」が運営、ニーズに合った検索が可能になっている。

URL <http://fresheye.toshiba.co.jp/>

Service コダックがインターネット を使った総合デジタルサー ビスを開始

コダックは、パソコンやデジタルカメラの普及により、多岐にわたる統合デジタルイメージングサービス「Kodak KIDS」を7月初旬から順次開始した。Kodak KIDSは写真プリント、フォトCDなどのプリントサービスや、デジタルカメラで撮影した画像のプリントサービス、インターネットを利用した写真の保管やその写真を使った加工品が注文できるオンラインサービス、フォトCDへの書き込み、ポストカードの作成といった各種のサービスから構成されている。

URL <http://www.kodak.co.jp/>



大きく5つのサービスから成る
Kodak KIDS

Service アルプスとケンウッドが 技術協力して「ナビトラ」 運用局情報を配信開始

アルプスとケンウッドは、GPSにアマチュア無線機を接続し、その電波で位置情報を地図上に表示し情報交換できる「ナビトラ」の運用局情報を、インターネットで地図ソフトにリアルタイムに表示する技術を開発、7月1日発売の電子地図ソフト「プロアトラス98」に実装した。ユーザーは「ナビトラ情報チャンネル」からファイルをダウンロードすると、プロアトラス98の地図上に随時情報を表示できる。

URL <http://info.alpsmap.co.jp/info/navitra/>



ナビトラの情報をプロアトラス98で表示できる

Service ゼンリンが インターネットと連動 させた地図ソフトを発売

ゼンリンは、地図情報や機能をさらにグレードアップした、パソコン用地図ソフト「ゼンリン電子地図帳Zi: 全国版」を6月26日に発売した。地図表示や操作レスポンスのプログラム改良で画像処理スピードが飛躍的に向上したほか、地図上の任意のポイントに名称、住所、カテゴリー、URLなどを登録できる。この情報を、ゼンリンが設置したホームページにアップでき、ユーザーどうしの情報交換が可能。価格は12,800円。

URL <http://www.zenrin.co.jp/products/>



GPSにも対応し、位置情報も表示できる

Service コンパックとルーセントテクノロジーが共同でインターネット電話を提供

コンパックコンピュータと日本ルーセントテクノロジーは、共同で製品企画や技術支援、販売促進などを行う協業態勢を敷き、ウィンドウズNTをベースとしたインターネット電話システムソリューションの提供を開始すると発表した。これにより、ユーザー向けセミナーの共同開催やカタログなどの共同制作、国内の外資系企業をターゲットにした提案などを行っていく。コンパックコンピュータはソリューションビジネス強化の一環としてCTI分野に参入し、一方の日本ルーセントテクノロジーはコンパックの販売チャンネルを利用して拡販を図る。このシステムはインターネット電話システム「ITS-E」とPCサーバー「ProLiant」で構成される。

URL <http://www.compaq.co.jp/>

Service 毎日新聞社がウェブ上で過去の写真を閲覧できるサービスを開始

毎日新聞社は、過去に記事で紹介した写真をウェブ上で閲覧して注文できるデジタル写真データベース「毎日フォトバンク」を7月1日から開始した。今年1月から日々のニュース写真を順次蓄積、さらに明治時代から戦前戦後の貴重な資料写真もデータベース化して、約14万枚という業界最大規模のデジタル写真データベースを構築した。ウェブ上の検索システムで、見たい写真を表示し、有償でレンタルもできる。

URL <http://photobank.mainichi.co.jp/>



キーワードによる検索システムで一覧表示できる

Service ジャストシステムがウェブ上でできる新聞記事検索サービスの提供を発表

ジャストシステムは、ウェブから新聞・経済誌などの記事情報を検索できる有料ニュースサービス「News Trek」を8月末から開始する予定であることを発表した。自然文検索システム「Concept Base Search」を使ったサービスで、「記事検索サービス」、「ニュースクリッピングサービス」、「ニュース速報」の3つのカテゴリに分かれている。記事検索サービスは、過去2年間の各種新聞や雑誌を横断検索でき、検索結果は見出しで抽出され、その中から必要なものを選んで本文を表示する。これを利用するにはウェブ上からファックスでの手続きだけですむ。決済はクレジットカードや銀行振り込みなどを予定している。

URL <http://www.justsystem.co.jp/>

Company 米国で電話線を利用した家庭内LANの普及を目指す団体が設立

米国のコンピュータ関連および情報通信関連企業が、家庭内において既存の電話線を使ったLAN利用の推進を促す普及団体「Home Phoneline Networking Alliance (HomePNA)」を6月22日に設立した。メンバーは、3Com、コンパック、IBMほか全11社で98年第3四半期中に電話線を利用した家庭内LAN技術の仕様をまとめ、市場への導入をすすめる。HomePNAが提唱する家庭内LANの仕様は、既存の電話配線を利用し、安価で簡単にネットワーク接続を実現できることであり、ユーザーが現状の電話サービスを中断せずにLANを構築できる環境であるとしている。これに基づき、V.90規格やADSLのケーブルモデム技術で家庭内LANが構築されると考えられる。

URL <http://www.homepna.org/news/pressr1.htm>

Company ソニーなど5社がカーナビ向けインターネットサービス仕様に関する団体を設立

ソニー、日本アイ・ピー・エム、パイオニア、本田技研工業、マツダの5社は、カーナビなどのモバイル端末でインターネットを利用するための技術仕様の標準化を図るため、「モバイルウェブ協議会」を10月に設立すると発表した。昨今、カーナビでインターネットができるサービス「Mobile Link」や「MONET」などが次々と開始され、あらゆるメーカーの端末でそれぞれ個別にサービスされることから、これらに一貫性を持たせる必要が出てきたためである。具体的には、モバイル端末に情報を提供するための画面サイズの仕様(1/4VGA)やカーナビと地図サービスをリンクさせた緯度経度情報の通信仕様などが標準化される見込みだ。

URL <http://www.pioneer.co.jp/news/>

Company 松下電器産業が米マイクロソフトとデジタルAV技術で提携

松下電器産業と米マイクロソフトは、デジタルAV技術とパソコン技術の融合促進という共通目的に立ち、協力関係を築くことで合意に達した。この提携に基づき、パソコンでデジタルテレビ放送の受信ができたり、デコード処理や表示機能を持たせたりと、インタラクティブな番組が楽しめるようになる。さらに、ネットワーク事業者や一般ユーザー向けにデジタルケーブルアドバンスドセットトップボックス(ASTB)の開発に取り組んでいく。さらに、松下電器産業は本年末をめどに、日本国内でアナログWebTV端末の発売を計画している。パソコンとAV技術の融合で、より高度で操作性に優れた情報家電が提供されることになる。

URL <http://www.panasonic.co.jp/>

Service DTIが法人向けサービス「DTI-Magic IntraOffice」を開始

プロバイダーであるドリーム・トレイン・インターネット(DTI)は、WWWブラウザだけで利用できる法人向けサービス「DTI-Magic IntraOffice」を開始した。同サービスには、ウェブベースで電子メールの読み書きができる「Web Mail機能」、ユーザー管理機能を持った「情報共有掲示板機能」など4つの機能がある。価格は、初期費用が50,000円。IntraOfficeソフトウェア利用料金が月額30,000円(20Mバイトのディスクスペースが付属)。

URL <http://www.dti.ad.jp/topic/iooffice.html>



WWWブラウザさえあればすべての機能が利用できる

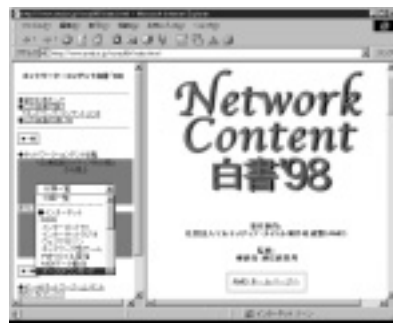
Service 郵政省監修の「ネットワーク・コンテンツ白書'98」が創刊

マルチメディア・タイトル制作者連盟は、郵政省の監修のもと、ネットワーク上を流れている情報「コンテンツ」を体系的に整理した資料集「ネットワーク・コンテンツ白書'98」を7月14日に創刊した。インターネットの特徴を生かし、実際にネットワークで運ばれている情報をリンクによって閲覧しながら具体例を簡単に把握できる仕様になっている。さらに、この白書自体がデジタルデータのため「伝達経路のメディア別分類」と「内容のジャンル別分類」による検索ができる。

インターネットの普及や、デジタル放送、インターネット放送など有線、無線のネットワークを組み合わせたサービスが次々と登場するなか、もっとも注目を集めているのが、このネットワークを流れる「コンテ

ント」であると考え、21世紀を豊かでぬくもりのある社会にするために情報通信の発展が技術的なものだけではなく、文化、精神面も豊かにさせるものとしてコンテンツが重要としている。これらを体系的に捉えた資料集としての活用が望まれる。

URL <http://www.amd.or.jp/ncwp98/>



ネットワーク・コンテンツ白書のトップページ

Campaign JCBがインターネットショッピングキャンペーンを実施

ジェーシービーは、インターネットショッピングの利用推進のために、キャンペーンを実施中。9月15日までの期間中にJCB総合ECサービスJ-MALLおよびJCB推奨インターネットショッピング加盟店で、JCBカードを使って5,000円以上利用した人の中から、抽選で300名にJCBギフトカード10,000円分をプレゼント。なお、キャンペーン参加は、JCBカード利用で自動的に登録される(別途応募は不要)。J-MALLは、SofmapやVirtual Storeのパソコン関連ショップのほか、JCBチケットセンターなど8社で、JCB推奨のインターネットショッピング加盟店はラオックス、びあ、三省堂書店など15店。JCBでは今後も同様のキャンペーンを随時実施する。

URL <http://www.jcb.co.jp/InternetWorld/>

Strategy 郵政省がドメインネームに関する体系的報告書を作成

郵政省は、「インターネット上の住所」であるドメインネームに関する課題について整理し、国際的な登録方法や管理体制、競争環境にあるドメインネーム登録受け付け業務などについて、あらゆる方面から検討を行うために「インターネット・ドメインネームに関する研究会」を3月に設立した。そこで検討されてきた件について、このほど報告書がまとめられた。

日本では、JPNICが.jpをトップレベルドメインとする登録受け付け業務を行っているが、新たなgTLDに関しては3業者が参入する動きもある。このような動向を踏まえて、この研究会で審議が進められてきた。報告書では、6つのポイントについて述べられている。

1つはドメインネームに関する課題で、

「ドメインネームの国際的な管理体制の見直し」、「ドメインネームの不足」、「多様な価値のバランスある実現」の3つの課題が挙げられた。そのほか、「国際的な管理体制のあり方に対する提言」、「国別トップレベルドメインの管理のあり方」、「ドメインネームの管理に関する政府の役割」、「ドメインネームに関する紛争への対応(登録機関の関与のあり方)」、「電子商取引の発展を通じた21世紀の高度情報通信社会におけるドメインネームに関する将来展望」といったものである。この報告書を国際的な議論の場に提供することで、ドメインネームについての議論喚起に貢献できると郵政省では見ている。

URL <http://www.mpt.go.jp/pressrelease/>

Event イベントカレンダー(1998年8月~11月)

カレンダーの日程はあくまでも予定です。お出
かけの際は、問い合わせ先へ確かめください。

国内

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
9月2日	9月4日	インターネットワールドジャパン'98 URL http://www.idgexpo.com/iw98/i-world_top.html	インターネット関連製品の展示会。情報・通信機器メーカーが集合。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 IDGワールドエクスポジャパン 関 Internet World Japan 98 統括事務局 Tel. 03-5276-3751 Fax. 03-5276-3752
9月9日	9月11日	ダイナミック・アジア (アジア中小企業見本市)	アジアの中小企業ネットワークの紹介とビジネスチャンスの提供のための見本市。	インテックス大阪(大阪国際見本市会場) 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102	主 アジア商工会議所連合会(CACCI) 関(社)大阪国際見本市委員会 Tel. 06-612-3773
9月16日	9月18日	IBM 総合フェア'98 URL http://www.nikkeibp.co.jp/event/ibm/	IBMがわかる総合プライベートショー。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 日経BP社、日本アイ・ピー・エム
9月30日	10月3日	WORLD PC EXPO 98 URL http://www.nikkeibp.co.jp/event/wpc/	特定の機種やOSに限定しないで、パソコンのハードやソフトからサービスに至るまで、あらゆる製品や技術が一堂に会するパソコン総合展示会。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 日経BP社
10月6日	10月10日	エレクトロニクスショー'98 URL http://www.jesa.or.jp/guide/jes98/index_j.html	オーディオ、ビジュアル関連、マルチメディア関連の機器や部品、デバイスなどの展示会。	インテックス大阪(大阪国際見本市会場) 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102	主(社)日本電子機械工業会(EIAJ) 関 日本エレクトロニクスショー協会(JESA) Tel. 03-5402-7601 Fax. 03-5402-7605
10月13日	10月16日	プレゼンテーションツールトレードフェア'98 URL http://www.nikkan.co.jp/eve/	プレゼンテーションやDTP用ソフト、プロジェクトなどの周辺機器、デジタル媒体に関する展示会。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 関 日刊工業新聞社 Tel. 03-3222-7232
10月28日	10月30日	Computer Telephony Conference & Exposition	世界最大規模のCT国際トレードショー。CTに関する最新製品や技術が一堂に集結。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 関 ミラフリーマンジャパン Tel. 03-3669-5811
11月4日	11月6日	Windows NT INTRANET Solutions Tokyo98 URL http://www.sbfors.com.jp/wintis98/	ウィンドウズNTやイントラネット関連の機器およびソフトの展示のほか、企業/ネットワークアプリケーション展望など、カンファレンスも開催。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 関 ソフトバンクフォーラム株式会社 Tel. 03-5642-8433 Fax. 03-5641-4617
11月10日	11月13日	COM JAPAN 1998 URL http://www.comjapan.gr.jp/	情報と通信に関する総合展示会。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 通信機械工業会(CIAJ)(社)日本電子工業振興協会(JEIDA)(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会(JPSA) 関 COM JAPAN 実施協議会事務局 Tel. 03-3231-8788 Fax. 03-3231-8789
11月25日	11月27日	ContentCreation+NICOGRAPH 98 URL http://www.nikkei.co.jp/events/ccn/	2D/3D CGとデジタルデザイン、コンテンツの制作およびデジタル作品の流通にかかわる展示会。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 (財)マルチメディアコンテンツ振興協会、日本経済新聞社 関 日本経済新聞社事業局総合事業部 Tel. 03-5255-2847 Fax. 03-5255-2860

海外

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
8月11日	8月13日	WebIT 98 URL http://www.kingbird.com/webit98/	Webアプリケーションと企業のイントラネットに関する展示会。	Hynes Convention Center Boston, MA, USA	関 KINGBIRD Media Group Tel. +1-800-652-2578 Fax. +1-212-869-2110
8月31日	9月4日	Seybold San Francisco Publishing 98 URL http://www.seyboldseminars.com/Events/sf98/	コンピュータやインターネットがCGや印刷、出版などにもたらす変化と新たな可能性に焦点をあてた展示会。	Moscone Center San Francisco, CA, USA	関 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8433
9月8日	9月11日	COMDEX/Enterprise San Francisco '98/Object World West URL http://www.comdexenterprise.com/	インターネットテクノロジーの展示会、カンファレンス。	Moscone Center San Francisco, CA, USA	関 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8433
9月22日	9月25日	ICE(Internet Commerce Expo) URL http://www.idg.com/ice/icela98/	インターネットコマース関連の展示会。	Los Angeles Convention Center Los Angeles, CA, USA	主 Internet Commerce Expo/IDG Expo Management Company
10月5日	10月9日	Fall Internet World 98 URL http://events.internet.com/fall98/	インターネット関連の総合展示会。	Jacob K. Javits Convention Center New York, NY, USA	関 Mecklermedia Corporation Tel. +1-203-226-6967 Fax. +1-203-454-5840
10月13日	10月15日	NETWORLD + INTEROP 98 London URL http://www.interop.com/Calendar/	最先端のネットワーク技術&情報に関するアプリケーションとインフラの展示会。	Earls Court II London, England	関 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8433



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp